

前学長 坂井 東洋男 退任のご挨拶

さよならだけが人生だ

前学長 坂井 東洋男

3月末の任期満了をもって学長を退任させていただきました。校友会の皆様、とりわけ林田会長をはじめ役員の皆様には、4年8か月の在任中、ひとかたならぬ誼を賜りました。

学内誌『リベルタス』にも退任のご挨拶「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」を書いたので、ここでは繰り返しません。

人生に別れはつきもの。というわけで、私は井伏鱒二の『厄除け詩集』所収の「酒を勤める」の妙訳、さよならだけが人生だ、をこよなく愛誦しています。惜別の情を深くこめたもので、その詩の後半部分の直筆の書額も古書



店で大枚を(?)はたいて買いました。骨董趣味の数少ないものの一つです。その原詩の後半は「花発(ひらく)とき風雨多し 人生 別離足る(多い)」。直訳すると、花が咲くと 雨が降ったり風が吹いたりするもの 人生に 別離はつきもの。

これを、井伏鱒二は「はなにあらしのたとへもあるぞ さよならだけが人生だ」と思い切りひねって訳しているんです。別れのこの酒宴では、心ゆくまで飲みましょうよ。

別れの場での酒宴で思い起こすのは、テレサ・テンも歌った「何日君再来」(つぎはいつお目にかかれるの)の中国語バージョンです。

せめて今は、心ゆくまで飲みましょうよ、召しあがりましょうよ。彼女は日本語でも歌っていますが、歌詞の趣旨はだいぶ違います。

何かの折には皆様にもまたお目にかかります。かさねてご厚誼に御礼申し上げます。

校友会 新会員からのメッセージ

校友と追大生とのかかわり ~ “今” を伝える架け橋に ~



神戸 春佳 (48期生 営マ)

入学してしばらくは、「校友会って何?」というのが率直な感想でした。私もこの春から新社会人となり、5万人近くからなる昭和、平成の追大卒業生、つまり校友の一人となりましたが、どのような活動をしているのか、学生意識委員会(C.S.C.)での活動がなければ、そのかわりは薄かったと思います。

しかし、卒業生としての誇りを持って、母校(追手門学院大学)の発展のために、自己のできる範囲で貢献すること。それが、学生と校友の方々との意見交換の場だけでなく、地域の清掃活動や將軍山祭、クラブ活動への支援などだった

んだと、今になって実感するばかりです。校友会の一員となった今、機会があれば、学生時代に校友と追大生との“架け橋”になれるように汗を流した経験を、広く伝えたいとも思っています。

この会報を通じて、校友会について知らない追大生に、「校友会」を身近な存在に感じてもらえればと願っています。

校友にとっても、最近の学生気質や、離れて久しい追大のキャンパスが進化する姿を知るきっかけになればとも考えています。そして全国に広がる追大と校友の交流の輪が、社会に広がり浸透していくことを期待しています。

將軍山奨学金授賞式

「將軍山奨学金」1期生の授賞式が行われました

校友会と在校生の交流の架け橋および、将来の校友会支部活性化を担う人材の育成を目的として、2016年度に校友会は「將軍山奨学金制度」を設立。栄えある第1期生の授賞式は、2017年3月26日校友会評議員会(追手門学院大手前中・高等学校視聴覚室)において行われました。奨学金を受給した学生たちから、以下の感謝の言葉が寄せられました。



奨学金授賞式の様子

奨学生からの感謝の言葉

私は将来に向けて、資格取得の勉強に励んでいます。昨年は学内の資格取得講座を利用し、世界遺産検定2級に合格することができました。この資格で得た知識を、2018年の世界遺産候補地である地元の長崎県での地域活性化に結び付けたいと思います。また4年間を通して学芸員資格の取得、さらにTOEIC®などの検定試験も視野を入れており、この奨学金を学費だけでなく、資格取得の費用としても使わせていただきたいと考えています。

松尾 有起 (地域創造学部 地域創造学科2年)

学会への参加やワークショップの受講、交通費などの費用をアルバイトで賄ってきました。奨学生に採用されるまで学業の時間もアルバイトにあてていましたので、奨学金の有効活用により、研究活動や学習により時間を費やすことができます。今後は学会へ積極的に参加したり、ワークショップを受講したりすることでさらに能力向上に励み、奨学生第1期として修士課程修了後、2期生以降に誇れるような人間になれるよう努力を続けます。

橋本 勇真 (大学院心理学研究科 臨床心理学コース)

院生になって学会など様々な場所へ伺うことが多くなり、学内だけではわからなかった貴重な体験ができています。そこで、もっと活動の幅を広げ、学ぶ機会を増やしたいという思いから応募させていただきました。奨学生に選んでいただいたことで私自身の研究活動を充実させると同時に、追大の先輩方とのかかわりも一層増やしたいと考えています。校友会での出会いから多くのことを学び、自分自身の成長の力に変えて行きたいと思っています。

古谷 有佳理 (大学院心理学研究科 臨床心理学コース)

EXTRACURRICULAR ACTIVITIES CLOSE-UP

クラブ活動・課外活動を応援しよう!

Vol.2

▶チアリーダー部

エリートガール部門世界1位に。校友会のご支援のお陰で競技に集中できた成果です。

経済学部 経済学科4年

梅原 有希さん

追手門学院大学学友会応援団チアリーダー部 Soldiers

チアリーダー部は、硬式野球部、アメリカンフットボール部の応援に加え、校友会のイベントや各種の学内行事、さらには地域のイベントなどを活動の場にしています。もう一つの軸は大会への参加です。2017年1月にアメリカで開催された「世界大学チアリーディング選手権(WUCC)」では、念願のエリートガール部門優勝という成績を収めることができました。

校友会の皆様には日頃からお力添えをいただいているのですが、本出場に際して多額のご支援をいただき、渡航費、宿泊費を心配することなく競技に集中できたことが世界1位という成果に結びついたり感謝しております。チアリーダー部は私の代から、ダンス部門とチアリーディング部門の2部門で活動しています。世界大会での優勝や規模の拡大といった現在の部の発展は、先輩方が築いてくださった伝統のうえに成り立っていることを常に感じています。今年度中にはリーダー部と吹奏楽団との3部の連携を本格化できるよう、現在話し合いを進めています。今後とも私たち学友会応援団チアリーダー部をよろしくお願い申し上げます。

